

越前スイセンの球根養成技術

越前スイセンを水田転換畑で球根養成すると、多くの分球が発生することで、球根の形状が悪くなり、その球根から咲く花の切り花品質低下が問題となっています。また、分球を取り外す作業も増えるため、作業時間が長くなります。そこで、高品質な球根を養成する技術について研究しましたので報告します。



1 技術内容

1) 植え付け深度による分球抑制

球根を植え付ける深度を 15 cm 以上にすることで、内分球を抑制することができます (表 1)。

しかし、球形がやや扁平になり、球根の品質が低下するため以下の技術のどちらかと組み合わせると効果的です。

2) 植え付け前の球根冷蔵貯蔵による高品質化

植え付け前の球根を定植日から逆算して小球は 40 日、中球は 60 日間 10°C で冷蔵貯蔵を行います。冷蔵期間が長くなると球根の生育に影響が出ますので注意してください。

冷蔵貯蔵により、通常の保存 (慣行) より小球中球の両方で丸い形の球根となり分球数も 1 個以下と少なくなります (表 2)。

3) 養成圃場へのもみ殻の混合による高品質化

養成球の圃場にもみ殻を容積比で 20% (1 a 当たり 1.5t) を混合します。混合は元肥等と同じタイミングで行います。

もみ殻を混合することで、無混合 (慣行) より小球、中球の両方で丸い形の球根となり分球数も 1 個未満と少なくなります (表 3)。

第 1 表 球根の品質

	小球 [※]			中球 [※]		
	球径比 [*]	分球数		球径比	分球数	
		外	内		外	内
5cm	0.78	3.4	1.7	0.85	2.6	1.2
10cm	0.74	4.2	1.2	0.85	3.1	0.5
15cm	0.76	4.1	0.3	0.84	3.2	0.1
20cm	0.75	4.7	0.1	0.83	3.6	0.1

※小球 (15~20g)、中球 (21~25g)

※球径の比であり、1に近いほど形が丸に近くなる。

第 2 表 球根の品質

	小球			中球		
	球径比	分球数		球径比	分球数	
		外	内		外	内
慣行	0.89	2.7	0.8	0.83	2.4	0.8
冷蔵	0.98	0.2	0.5	0.98	0.1	0.6

※植え付け深度は 15 cm で行っています。

第 3 表 球根の品質

	小球			中球		
	球径比	分球数		球径比	分球数	
		外	内		外	内
慣行	0.89	2.7	0.8	0.83	2.4	0.8
もみ殻	0.95	0.9	0.1	0.89	0.8	0.4

※植え付け深度は 15 cm で行っています。

2 技術の効果およびコスト

- ・水田転換畑においてスイセンの球根を植え付ける深度を 15cm 以上にすることで分球を抑制することができます。
- ・植え付け深度の調整に加え、球根冷蔵貯蔵または、養成圃場へのもみ殻の混合を組み合わせることで、より効果的に分球を抑制し、球径比の高い高品質な球根を生産できます。